

劇団イラル旗揚げ公演

...Right Eye...

作：野田秀樹
潤色：中村諒
出演：橋本卓
中村諒
中原汐夏

右目を失った日
物語が動き出した

チケットフォームは
こちら



2025.2.23^{SUN} 12:30 - 18:00

平原通り小劇場の公演
まじかるいーるB1

報道写真が
右目を失ってはならない



公演の最新
情報はこちら

作：野田秀樹
潤色：中村諒
出演：橋本卓
中村諒
中原汐夏

後援：北海道社会事業協会 帯広病院
北海道教育委員会 帯広市教育委員会

...Right Eye...

Right Eye

【あらすじ】

カンボジアにて失踪したカメラマンを題材にした芝居の執筆中、突然片目を失明した演出家。担当医は彼の作品に勝手に手を出し、芸能ライターは（失礼にも！）超有名芸能人の片手間に演出家のスクープ写真を狙う。翻弄される物語は、次第にアンコールワットへの道を示し、囮らずも人間の本质に迫っていく。1998年の初演以来「作ること」や「見ること」の意味を鋭く掘る意欲作が、いま再び。

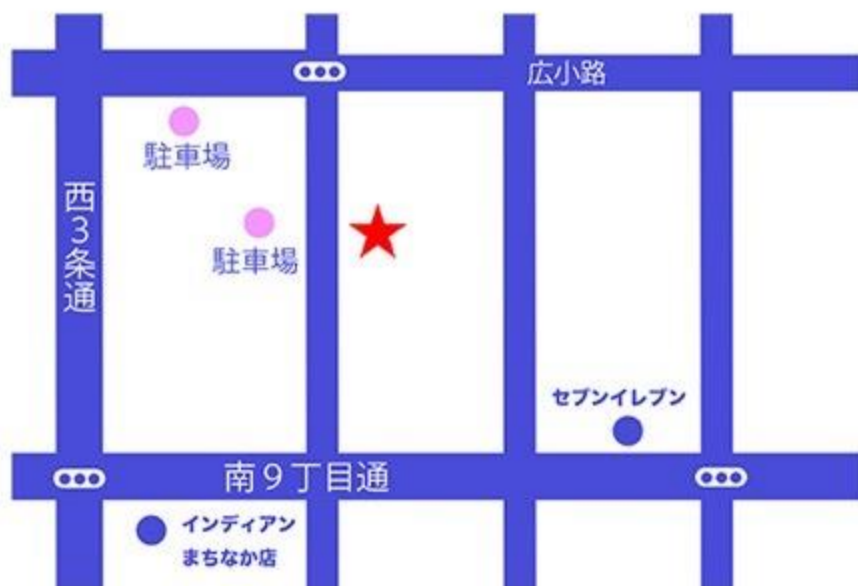
【日時】 2025.2.23

【開演】 12:30 18:00

【チケット】 1,000円（全自由席）

【場所】 平原通り小劇場

西2条南9丁目12番地
ギャルリーシノカワビル地下1階



※開場は開演の30分前です。開演時間を過ぎますとご入場をお待ちいただく場合がございます。駐車場は周辺の有料駐車場をご利用ください。

【原作者】

野田秀樹(劇団野田地区主宰/東京芸術劇場芸術監督)
同音異義語を多様した自由な台詞回し、瞬発力に満ちた物語展開が特徴。最盛期には芝居として異例の1日2万6千人を動員し今もなお高い評価を得ている。

【劇団イワル】

中村諒(帯広協会病院・研修医)が主宰する劇団。同病院外科部長・橋本卓、言語聴覚士・中原汐夏の3人の演劇経験者を筆頭に有志者が集まった団体です。「帯広で演劇をもっと身近なものにしたい」「偶然性を楽しむ」が身上。

作：野田秀樹
出演：橋本卓

潤色：中村諒
中村諒

演出：中原汐夏
中原汐夏



◀チケット購入はこちら



◀劇団の最新情報はこちら

【問い合わせ先】

gekidan.iwor@gmail.com

【後援】 北海道教育庁十勝教育局 帯広市教育委員会
帯広協会病院